

平成30年1月23日

東京の西に明法あり 合格おめでとう！ 明法高校0学年の諸君へ

明法中学・高等学校長

下 條 隆 史

推薦入学試験での合格おめでとう。

まず、本校の建学の精神は、世界平和と社会貢献にある。そのことをしっかり意識して、入学後のことを考えよう。

この時期に合格すると、入学までの約2月半の生活ががらりと変わる人が多い。中学校の勉強や部活動などを最後までしっかりやりきる人、合格したのでほっとして毎日をただただ過ごし、気がついたら入学式を迎える人、その中間の人もあるかもしれない。

明法は、前者、つまり「やりきる」人を求めたい。

きっと、君の周囲のクラスメイトの中には、都立高校や県立高校の推薦入試や一般入試に、これから立ち向かおうとして努力をしている人が多いと思う。そのような中で、自分だけが浮かれているのか？自問自答してほしい。

また、都立の一般入試は2月の後半に行われる。埼玉県立の一般入試は3月の上旬に行われる。それまで彼らは、必死で学習する。学力差はどこで生まれるのか。それは、はっきり言って、学習量（学習時間や内容など）である。明法に推薦で合格した翌日から学習しなくなる人（君）とまだ続ける人（一般入試を受ける人）の学力差は計り知れない。

そこで、君にも挑戦し続けてほしい。

まず、

① **中学校の教育活動**（学習や部活動など）にしっかり取り組む（やり抜く）こと。

そして、

① 都立高校や県立高校の**受験勉強**をすること。

② 後日でよいので、**一般入試の問題**（都立または県立の5教科）を必ず時間を決めて解くこと（後日、自己報告予定）。

③ **明法の課題（3教科）**に取り組むこと（確認テストあり、最低3回繰返して知識の定着をはかること）。

④ それに加えて、**5冊以上読書**をすること。

以上のことに挑戦し、自分に甘えず、入学後も努力を続けてほしい。

では、明法の入学式で会いましょう。